

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

1c841 U.S. PTO
09/725318
11/29/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 3月30日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-097855

出 願 人
Applicant (s):

沖電気工業株式会社

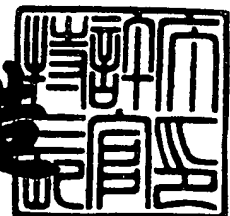
CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 7月28日

AT14 DOCKET: 31759/167528
Applicant: YASUHIRO KAWAKITA

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3058894

【書類名】 特許願

【整理番号】 KT000274

【提出日】 平成12年 3月30日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
G06F 17/30
G06F 13/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会
社内

【氏名】 川北 泰広

【特許出願人】

【識別番号】 000000295

【氏名又は名称】 沖電気工業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100095957

【弁理士】

【氏名又は名称】 亀谷 美明

【電話番号】 03-3226-6631

【選任した代理人】

【識別番号】 100096389

【弁理士】

【氏名又は名称】 金本 哲男

【電話番号】 03-3226-6631

【選任した代理人】

【識別番号】 100101557

【弁理士】

【氏名又は名称】 萩原 康司

【電話番号】 03-3226-6631

【選任した代理人】

【識別番号】 100096091

【弁理士】

【氏名又は名称】 井上 誠一

【電話番号】 03-3226-6631

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 040224

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707549

【包括委任状番号】 9707550

【包括委任状番号】 9707551

【包括委任状番号】 0001436

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コーディネーションサービスシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定の作業方法について情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、前記所定作業を実行するために必要な作業要素を提供し前記作業要素を宅配し及び前記作業要素の代金を決済する複数の作業要素提供者端末とがコンピュータネットワークを介して利用者端末と接続されるサービスシステムにおいて、

さらに、前記利用者が閲覧する前記所定の作業方法の前記情報ページから、直接、前記作業要素提供者端末に対して、前記所定作業に必要な前記作業要素を注文できるコーディネーション端末が接続されることを特徴とするコーディネーションサービスシステム。

【請求項 2】 所定の作業方法について情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、前記所定作業を実行するために必要な作業要素を提供し、前記作業要素の代金を決済する複数の作業要素提供者端末と、前記作業要素を宅配する宅配業者端末とがコンピュータネットワークを介して利用者端末と接続されたサービスシステムにおいて、

さらに、前記利用者が閲覧する前記所定の作業方法の前記情報ページから、直接、前記作業要素を前記作業要素提供者端末に対して注文し、かつ、前記作業要素の集荷及び宅配を前記宅配業者端末に対して注文するコーディネーション端末が接続されることを特徴とするコーディネーションサービスシステム。

【請求項 3】 所定の作業方法について情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、前記所定作業を実行するために必要な作業要素を提供する複数の作業要素提供者端末と、前記作業要素を宅配する宅配業者端末と、前記作業要素の代金を決済する決済代行業者端末とがコンピュータネットワークを介して利用者の利用者端末と接続されたサービスシステムにおいて、

さらに、前記利用者が閲覧する前記所定の作業方法の前記情報ページから、直接、前記作業要素を前記作業要素提供者端末に対して注文し、前記作業要素の集荷及び宅配を前記宅配業者端末に対して注文し、かつ、前記作業要素の代金決済

を前記決済代行業者端末に対して依頼するコーディネーション端末が接続されることを特徴とするコーディネーションサービスシステム。

【請求項4】 前記コーディネーション端末は、前記作業要素提供者及び前記宅配業者がそれぞれ必要とする情報以外の個人情報の漏洩を防止する個人情報漏洩防止手段を有し、

前記作業要素提供者端末及び前記宅配業者端末への注文は、前記情報漏洩防止手段を介して行われることを特徴とする請求項3に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項5】 前記コーディネーション端末は、宅配システムを有する前記作業要素提供者に対して、前記作業要素を宅配するように注文する手段を有することを特徴とする請求項1に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項6】 前記コーディネーション端末は、前記作業要素提供者に対して、前記利用者に提供された前記作業要素の代金を電子決済するように注文する手段を有することを特徴とする請求項5に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項7】 前記コーディネーション端末は、前記作業要素提供者に対して、前記作業要素を前記利用者に宅配した際に代金を集金するように注文する手段を有することを特徴とする請求項5に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項8】 前記コーディネーション端末は、前記作業要素提供者に対して、前記利用者が前記作業要素提供者の店舗で、前記作業要素と交換に代金を集金するように注文する手段を有することを特徴とする請求項1に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項9】 前記コーディネーション端末は、前記利用者が閲覧する前記所定の作業方法の前記情報ページから必要な前記作業要素を抜粋して前記利用者端末に提示する手段を有することを特徴とする請求項2, 3, 4, 5, 6, 7あるいは8項のうちいずれか1項に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項10】 前記コーディネーション端末は、複数の前記作業方法提供者端末に対して、前記所定の作業方法に必要な前記作業要素の一覧を送信するよ

うに要求する手段と、

前記送信された作業要素の前記一覧を前記利用者端末に提示する手段とを有することを特徴とする請求項 2, 3, 4, 5, 6, 7 あるいは 8 項のうちいずれか 1 項に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項 1 1】 前記コーディネーション端末は、前記提示された前記作業要素の前記一覧から、前記利用者が必要な前記作業要素を選択する手段とを有することを特徴とする請求項 9 又は 1 0 に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項 1 2】 前記コーディネーション端末は、必要な前記作業要素の情報を複数の前記作業要素提供者端末に送信する手段と、

前記送信された情報に対して、全部または一部の前記作業要素が提供可能であると返信した作業要素提供者とその作業要素の情報を前記利用者端末に提示する手段と、

を有することを特徴とする請求項 1 1 に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項 1 3】 前記コーディネーション端末は、前記提示された複数の前記作業要素提供者の中から、前記利用者が注文する作業要素提供者を選択する手段を有することを特徴とする請求項 1 2 に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項 1 4】 前記コーディネーション端末は、前記提示された複数の前記作業要素提供者の中から、前記利用者が予め指定した優先順位に基づいて前記利用者が注文する作業要素提供者を選択する手段を有することを特徴とする請求項 1 3 に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項 1 5】 前記選択手段により、複数の作業要素提供者が選択されることを特徴とする請求項 1 3 または 1 4 に記載のコーディネーションサービスシステム。

【請求項 1 6】 前記コーディネーション端末は、注文する前記作業要素の数量を、前記作業要素提供者が取り扱う単位で必要数量を満たすように提示する手段とを有することを特徴とする請求項 1 5 に記載のコーディネーションサービス

スシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、コーディネーションサービスシステムに関し、さらに詳細には、インターネットに代表されるネットワークに接続された利用者端末から、種々のサービスを検索してオンライン上で商品を購入するコーディネーションサービスシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年においては、インターネット等のコンピュータネットワークを介して、サービス提供者が幾多の商品、情報（データやコンテンツとも称される）、サービスなどを提供し、利用者はかかる商品等を閲覧して購入するシステムが構築されている。かかるシステムにより、利用者が商品等を購入しようとする場合には、利用者端末の閲覧画面からネットワークを介して、例えば、料理用レシピなどの情報や料理用食材自体を商品として販売する業者に対して、商品等を注文する。

【0003】

このようなシステムは、例えば、日経産業新聞1999年12月24日付の朝刊に掲載されている。この掲載のように、ネットワーク上にはさまざまな料理の作り方や材料などを紹介する料理レシピの提供サイトがあり、利用者は、その提供サイトを無料で閲覧して情報を得ることができる。また、例えばCD-ROMなどの有料コンテンツとして販売されるものもある。

【0004】

また、例えば日本経済新聞2000年1月12日付の朝刊に掲載されているように、ネットワーク上には食材の販売するサイトがあり、利用者は、アクセスしたサイトの指定フォーマットで注文書を送信することにより、食材の注文及び宅配の依頼をおこなうこともできる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、コンピュータネットワーク上では、作業方法を提供するサイトと作業に必要な材料あるいは道具等の作業要素を提供するサイトが各々独立して存在しているため、利用者は作業方法サイトを閲覧して作業方法を決定した後、作業に必要な材料等を利用者自身が検討して材料等の提供サイトを閲覧し、必要な材料を注文しなければならない。

【0006】

例えば、利用者が所定の食材を用いて料理をしようとする場合には、料理レシピを提供するサイトと食材自体を提供するサイトが各々独立して存在しているため、利用者は料理レシピサイトを閲覧してメニューを決定した後、料理に必要な材料を利用者自身が検討して食材提供サイトを閲覧し、食材提供サイトで食材を注文しなければならない。

【0007】

このように、利用者は、各々のサイトを閲覧する必要があることから閲覧時間が長時間となり、特に家庭などから電話回線を介してアクセスする一般消費者にとっては、通信費も高いものとなる。また、料理メニューを決定した後、料理に必要な全ての食材を扱うサイトを短時間で効率的に探し出すことも困難である。

【0008】

一方、料理レシピの提供と食材自体の提供とを同一サイトで運営するサービスも存在するが、この場合には、料理レシピのデータベースと食材自体のデータベースの両方のデータベースを管理しなければならないという問題がある。また、同一サイトで提供される料理レシピと食材自体のデータは、提供者側により制約されているため、ネットワーク上に存在する全ての料理レシピあるいは食材自体の提供量に比較して、極めてデータ量が少ないという問題もある。

【0009】

したがって、本発明の課題は、インターネットに代表されるネットワークに接続された利用者端末から、所定作業に必要な作業要素を効率的かつ短時間で検索し、確実にオンライン上で必要な作業要素を購入することが可能な、新規かつ改良されたコーディネーションサービスシステムを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、請求項1に記載の説明では、所定の作業方法について情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、前記所定作業を実行するために必要な作業要素を提供し前記作業要素を宅配し及び前記作業要素の代金を決済する複数の作業要素提供者端末とがコンピュータネットワークを介して利用者端末と接続されるサービスシステムにおいて、さらに、前記利用者が閲覧する前記所定の作業方法の前記情報ページから、直接、前記作業要素提供者端末に対して、前記所定作業に必要な前記作業要素を注文できるコーディネーション端末が接続されることを特徴とするコーディネーションサービスシステムが提供される。

【0011】

本項記載の発明では、複数の所定の作業方法の提供サイトと複数の材料あるいは道具などの作業要素の提供サイトを調整（コーディネート）する端末（コーディネーション端末）がネットワーク上に配置される。利用者の要求に対する所定作業方法の提供サイト（例えば料理レシピサイト）を表示する際に、例えば画面の一部に所定作業に必要な材料あるいは道具などの作業要素（例えば食材）の注文を意図するボタンをつけて表示すれば、利用者が例えば料理レシピからメニューを選択して決定し、画面上の例えば食材注文ボタンを押すことで、選択した料理に必要な食材を、食材提供者の端末から自動的に抽出して、注文することができる。このコーディネーション端末は、例えば料理レシピのデータベースや例えば食材のデータベースを保持する必要がないので、料理レシピや食材を検索する機能を有する必要もない。また、かかるシステムにより、ネットワーク上に散在する料理レシピのサイトを閲覧した後で、改めて食材提供サイトを閲覧する必要がなく、短時間で直感的なインターフェースで注文することができる。さらに、ネットワーク上であらゆる作業方法提供サイト（料理レシピ提供サイト）と作業要素提供サイト（食材提供サイト）を利用できるので、利用者は、作業（料理）の選択が制限されずにサービスを受けることができる。

【0012】

また、上記課題を解決するため、請求項2に記載の発明では、所定の作業方法

について情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、前記所定作業を実行するために必要な作業要素を提供し、前記作業要素の代金を決済する複数の作業要素提供者端末と、前記作業要素を宅配する宅配業者端末とがコンピュータネットワークを介して利用者端末と接続されたサービスシステムにおいて、さらに、前記利用者が閲覧する前記所定の作業方法の前記情報ページから、直接、前記作業要素を前記作業要素提供者端末に対して注文し、かつ、前記作業要素の集荷及び宅配を前記宅配業者端末に対して注文するコーディネーション端末が接続されることを特徴とするコーディネーションサービスシステムが提供される。

【 0 0 1 3 】

本項記載の発明では、複数の所定の作業方法の提供サイトと複数の材料あるいは道具などの作業要素の提供サイトを調整（コーディネート）する端末（コーディネーション端末）がネットワーク上に配置される。利用者の要求に対する所定作業方法の提供サイト（例えば料理レシピサイト）を表示する際に、例えば画面の一部に所定作業に必要な材料あるいは道具などの作業要素（例えば食材）の注文を意図するボタンをつけて表示すれば、利用者が例えば料理レシピからメニューを選択して決定し、画面上の例えば食材注文ボタンを押すことで、選択した料理に必要な食材を、食材提供者の端末から自動的に抽出して、注文することができる。このコーディネーション端末は、例えば料理レシピのデータベースや例えば食材のデータベースを保持する必要がないので、料理レシピや食材を検索する機能を有する必要もない。また、かかるシステムにより、ネットワーク上に散在する料理レシピのサイトを閲覧した後で、改めて食材提供サイトを閲覧する必要がなく、短時間で直感的なインターフェースで注文することができる。さらに、ネットワーク上であらゆる作業方法提供サイト（料理レシピ提供サイト）と作業要素提供サイト（食材提供サイト）を利用できるので、利用者は、作業（料理）の選択が制限されずにサービスを受けることができる。さらに、食材提供者が宅配のシステムを有していない場合であっても、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムに加わることができる。

【 0 0 1 4 】

また、上記課題を解決するため、請求項 3 に記載の発明では、所定の作業方法

について情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、前記所定作業を実行するために必要な作業要素を提供する複数の作業要素提供者端末と、前記作業要素を宅配する宅配業者端末と、前記作業要素の代金を決済する決済代行業者端末とがコンピュータネットワークを介して利用者の利用者端末と接続されたサービスシステムにおいて、さらに、前記利用者が閲覧する前記所定の作業方法の前記情報ページから、直接、前記作業要素を前記作業要素提供者端末に対して注文し、前記作業要素の集荷及び宅配を前記宅配業者端末に対して注文し、かつ、前記作業要素の代金決済を前記決済代行業者端末に対して依頼するコーディネーション端末が接続されることを特徴とするコーディネーションサービスシステムが提供される。

【 0 0 1 5 】

本項記載の発明では、複数の所定の作業方法の提供サイトと複数の材料あるいは道具などの作業要素の提供サイトを調整（コーディネート）する端末（コーディネーション端末）がネットワーク上に配置される。利用者の要求に対する所定作業方法の提供サイト（例えば料理レシピサイト）を表示する際に、例えば画面の一部に所定作業に必要な材料あるいは道具などの作業要素（例えば食材）の注文を意図するボタンをつけて表示すれば、利用者が例えば料理レシピからメニューを選択して決定し、画面上の例えば食材注文ボタンを押すことで、選択した料理に必要な食材を、食材提供者の端末から自動的に抽出して、注文することができる。このコーディネーション端末は、例えば料理レシピのデータベースや例えば食材のデータベースを保持する必要がないので、料理レシピや食材を検索する機能を有する必要もない。また、かかるシステムにより、ネットワーク上に散在する料理レシピのサイトを閲覧した後で、改めて食材提供サイトを閲覧する必要がなく、短時間で直感的なインターフェースで注文することができる。さらに、ネットワーク上であらゆる作業方法提供サイト（料理レシピ提供サイト）と作業要素提供サイト（食材提供サイト）を利用できるので、利用者は、作業（料理）の選択が制限されずにサービスを受けることができる。さらに、食材提供者が宅配システムあるいは決済代行システムを有していない場合であっても、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムに加わることができる。

【0016】

また、請求項4に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、前記作業要素提供者及び前記宅配業者がそれぞれ必要とする情報以外の個人情報の漏洩を防止する個人情報漏洩防止手段を有し、前記作業要素提供者端末及び前記宅配業者端末への注文は、前記情報漏洩防止手段を介して行われる如く構成すれば、各業者に必要でない個人情報を秘密にすることができる。例えば、食材提供者には配達場所などの個人情報が伝わらないので、誰が購入したかという情報を秘密にすることができる。また、例えば、宅配業者には配達物の内容が知らされていないので、利用者が何を購入したかという情報を秘密にすることができる。

【0017】

また、請求項5に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、宅配システムを有する前記作業要素提供者に対して、前記作業要素を宅配するように注文する手段を有する如く構成したので、利用者は、材料あるいは道具などの作業要素の提供者に発注するだけで、材料あるいは道具などの作業要素を入手することができる。

【0018】

また、請求項6に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、前記作業要素提供者に対して、前記利用者に提供された前記作業要素の代金を電子決済するように注文する手段を有する如く構成したので、利用者は、オンライン上で材料あるいは道具などの作業要素の代金を決済することができる。また、請求項7に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、前記作業要素提供者に対して、前記作業要素を前記利用者に宅配した際に代金を集金するように注文する手段を有する如く構成すれば、利用者がクレジットカードなどを利用した電子決済を使用しない場合でも利用者の要求に応じた代金の支払いをすることができ、本システムを利用することができる。また、請求項8に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、前記作業要素提供者に対して、前記利用者が前記作業要素提供者の店舗で、前記作業要素と交換に代金を集金するように注文する手段を有する如く構成することにより、利用者がクレジットカードなどを利用した電子決済を使用しない場合でも利用者の要求に応じた代金の支払いをす

ることができ、本システムを利用することができる。

【 0 0 1 9 】

また、請求項 9 に記載の発明のように前記コーディネーション端末は、前記利用者が閲覧する前記所定の作業方法の前記情報ページから必要な前記作業要素を抜粋して前記利用者端末に提示する手段を有する如く構成したので、コーディネーション端末を運営する事業者は、蓄積した個人情報に応じて注文時の選択項目を削減したり、提示するコンテンツを利用者毎に変更するなどして、個人を対象としたビジネスを実施することができる。

【 0 0 2 0 】

また、請求項 1 0 に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、複数の前記作業方法提供者端末に対して、前記所定の作業方法に必要な前記作業要素の一覧を送信するように要求する手段と、前記送信された作業要素の前記一覧を前記利用者端末に提示する手段とを有する如く構成したので、利用者は、一覧から該当部分を選択して、必要な材料あるいは道具などの作業要素を選択することができる。

【 0 0 2 1 】

また、請求項 1 1 に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、前記提示された前記作業要素の前記一覧から、前記利用者が必要な前記作業要素を選択する手段とを有する如く構成したので、利用者は、材料あるいは道具などの作業要素の一覧から該当部分を選択して、不要な材料あるいは道具を削除し、必要な材料のみを選択することができる。

【 0 0 2 2 】

また、請求項 1 2 に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、必要な前記作業要素の情報を複数の前記作業要素提供者端末に送信する手段と、前記送信された情報に対して、全部または一部の前記作業要素が提供可能であると返信した作業要素提供者とその作業要素の情報を前記利用者端末に提示する手段と、を有する如く構成したので、確実に材料あるいは道具を提供できる業者の情報を入手できる。

【 0 0 2 3 】

また、請求項 1 3 に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、前記提示された複数の前記作業要素提供者の中から、前記利用者が注文する作業要素提供者を選択する手段を有する如く構成したので、確実に材料あるいは道具などの作業要素を提供できる業者を選択することができる。

【 0 0 2 4 】

また、請求項 1 4 に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、前記提示された複数の前記作業要素提供者の中から、前記利用者が予め指定した優先順位に基づいて前記利用者が注文する作業要素提供者を選択する手段を有する如く構成したので、利用者は、価格の安い提供者、品質の高い提供者、距離が近い提供者など選択基準に応じて、材料あるいは道具などの作業要素の提供者を選択することができる。

【 0 0 2 5 】

また、請求項 1 5 に記載の発明のように、前記選択手段により、複数の作業要素提供者が選択される如く構成したので、1 つの作業要素提供者端末で全ての材料あるいは道具などの作業要素が揃わない場合であっても、複数の作業要素提供者から作業要素を全て取り揃えることができるので、利用者は、材料あるいは道具などの作業要素を確実に入手できる。

【 0 0 2 6 】

また、請求項 1 6 に記載の発明のように、前記コーディネーション端末は、注文する材料あるいは道具の数量を料理に必要な数量を満たすように、材料あるいは道具の提供者が扱っている単位に変換して提示する手段とを有する如く構成すれば、作業要素提供者の取引単位に応じて材料あるいは道具などの作業要素の数量あるいは価格を明示することができる。

【 0 0 2 7 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の好適な実施の形態について、添付図面を参照しながら詳細に説明する。尚、以下の説明および添付図面において、同一の機能及び構成を有する構成要素については、同一符号を付することにより、重複説明を省略する。

【 0 0 2 8 】

(第1の実施の形態)

本実施形態では、利用者が料理レシピをコーディネーション端末を介してネットワーク上で閲覧した後所定の食材を注文操作することにより、料理に必要な食材が食材提供者から指定場所に宅配され、代金も同時に支払うことができるコーディネーションサービスシステムについて説明する。

【0029】

以下、図1を参照しながら、第1の実施の形態について説明する。図1は、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。なお、ここで、符号100は、食材リストの提示、食材の注文、宅配及び代金の決済を受ける作業要素提供者端末（以下、食材提供者端末という。）である。符号101は、料理レシピを提供する作業方法提供者端末（以下、レシピ提供者端末という。）である。符号102は、コーディネーションを行うコーディネーション端末である。符号103は、利用者端末である。符号104は、ネットワークである。

【0030】

本実施形態においては、食材提供者端末100は、提供可能な食材の名前、値段、数量などをデータベースに格納している。また、ネットワーク経由で受注可能なシステム、代金を決済するシステム、及び指定住所まで注文食材を宅配する受注システムを具備する。

【0031】

レシピ提供者端末101は、料理の名前、材料、作り方などをデータベースに格納しており、利用者がネットワーク経由で各料理レシピを閲覧できるシステムを有する。

【0032】

コーディネーション端末102は、利用者の個人情報や、食材提供者の情報、及びレシピ提供者の情報をデータベースに格納する機能、及び利用者端末103に対して料理レシピから直接材料の注文できるシステムを提供する機能を有する。

【0033】

利用者端末 1 0 3 は、ネットワークに接続され、レシピ提供者端末 1 0 1 の情報、食材提供者端末 1 0 0 の情報、あるいはコーディネーション端末 1 0 2 の情報を表示し、必要に応じて入力する手段を具備する。ネットワーク 1 0 4 は、上記各端末 1 0 0、1 0 1、1 0 2、1 0 3 を接続する。

【 0 0 3 4 】

以下、図 2 に基づいて、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローについて説明する。図 2 は、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローを示すフローチャートである。

【 0 0 3 5 】

本実施形態においては、利用者は、本システムを利用するに当たり、個人情報をコーディネーション端末 1 0 2 に予め登録する。個人情報の登録方法は、特に規定されないが、個人を特定する情報、食材を宅配する際の配達場所、代金を支払うためのクレジットカード番号や銀行口座番号などの情報を登録する。また、各端末間 1 0 0、1 0 1、1 0 2、1 0 3 でネットワーク 1 0 4 を介して送受信されるメッセージは、セキュリティが全て保護され、安全にメッセージを送受信できる環境であるものとする。

【 0 0 3 6 】

まず、ステップ S 2 0 0 において、利用者は、利用者端末 1 0 3 を用いて、コーディネーション端末 1 0 2 に接続する（ステップ S 2 0 0）。これは、利用者が汎用の e b ブラウザを利用して、コーディネーション端末 1 0 2 の URL を指定することに相当する。

【 0 0 3 7 】

次いで、ステップ S 2 0 1 で、利用者が登録者であるか否かを判断する（ステップ S 2 0 1）。利用者が登録者であると判断する場合には、ステップ S 2 0 2 に移行してユーザ名、パスワードなどを入力（ステップ S 2 0 2）した後、ステップ S 2 0 4 で、入力したユーザ名、パスワードなどが正しいか否かを判断する（ステップ S 2 0 4）。

【 0 0 3 8 】

利用者が登録者でないと判断する場合には、ステップ S 2 0 3 に移行し、個人情報登録の登録ページを表示して登録するように促す（ステップ S 2 0 3）。

【 0 0 3 9 】

一方、ステップ S 2 0 4 で、入力されたユーザ名、パスワードなどが正しいと判断する場合には、ステップ S 2 0 5 に移行し、コーディネーション端末 1 0 2 が提供するページを表示する（ステップ S 2 0 5）。このとき、コーディネーション端末 1 0 2 は、図 3 に示すように、料理レシピを提供する複数の端末 1 0 1 の URL リストを利用者端末に対して提示する。これは、コーディネーション端末 1 0 2 が提供するページ内に、料理レシピを提供するサイトの URL が、URL リンクとして表示されていることを意味する。なお、この URL は、料理レシピ提供者と予め提携した上で表示される。

【 0 0 4 0 】

次いで、ステップ S 2 0 6 で、利用者は、提示された料理レシピを提供する複数の端末の URL リストから、好みのサイトを 1 つ選択する（ステップ S 2 0 6）。次いで、ステップ S 2 0 7 に移行し、その端末が提供するレシピのページを閲覧する（ステップ S 2 0 7）。このとき、利用者端末 1 0 3 には、図 4 に示すように、レシピ提供サイトが提示する画面以外に、食材注文ボタンが画面内に表示される。

【 0 0 4 1 】

次いで、ステップ S 2 0 8 で、利用者は、レシピ提供サイト中を様々な検索方法で検索して希望する料理レシピのページに到達すると、食材注文ボタンを押す（ステップ S 2 0 8）。この操作により、ステップ S 2 0 9 で、コーディネーション端末 1 0 2 は、図 5 に示すように、表示されている料理レシピの料理を作るために必要な食材の種類とその数量の一覧を利用者端末 1 0 3 に提示する（ステップ S 2 0 9）。

【 0 0 4 2 】

ここで、料理に必要な食材の種類と数量を取得する方法として、表示されている料理レシピから該当する部分を抽出して取得する方法や、選択された料理レシピの材料リストを料理レシピの提供者に対して要求して取得する方法が利用でき

る。

【 0 0 4 3 】

次いで、利用者は、提示された内容を見て、不要な食材を削除して必要な食材を残す、あるいは食材の量を変更するなどの修正をおこなう（ステップ S 2 1 0）。その後、ステップ S 2 1 1 に移行し、確認ボタンを押す（ステップ S 2 1 1）。また、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることもできる。

【 0 0 4 4 】

コーディネーション端末 1 0 2 は、利用者が希望した食材の情報に基づいて、必要な食材が揃えることができ、かつ利用者が指定する配達場所に指定時間内に配達できる食材提供者端末 1 0 0 を選択する。このとき、1 つの食材提供者で全ての食材が揃わない場合は、複数の食材提供者端末 1 0 0 を組み合わせて選択することもできる。また、食材提供者の選択は、食材提供者に食材の情報、配達場所、配達時間などを送信し、指定時間内に食材を配達できると返信した食材提供者を選択する方法も採用することができる。また、複数の食材提供者の候補がある場合には、利用者が選択する方法や、利用者が予め設定した優先順位（価格の安い提供者、品質の高い提供者など）に応じて選択する方法も採用することができる。

【 0 0 4 5 】

次いで、ステップ S 2 1 2 に移行し、食材提供者が決定すると、コーディネーション端末 1 0 2 は、図 6（a）に示すように、決定した食材提供者から注文書式を取得し、図 6（b）に示すように、注文する食材の種類、各数量、値段、予め登録されている配達場所、配達時間及び代金支払いのためクレジットカード番号など該当箇所を埋めて、利用者端末 1 0 3 に提示する（ステップ S 2 1 2）。このとき、食材の数量は、必要な分量を満たすように、食材提供者が取り扱う単位で表示される。

【 0 0 4 6 】

次いで、ステップ S 2 1 3 に移行し、利用者は、注文内容を確認し所定の修正を加えた上で、確認ボタンを押す（ステップ S 2 1 3）。このとき、この操作を

キャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることもできる。

【 0 0 4 7 】

次いで、ステップ S 2 1 4 に移行し、注文内容の確認ボタンを押すことにより、食材提供者端末 1 0 0 に食材の注文内容が送信され（ステップ S 2 1 4）、ステップ S 2 1 5 で、注文処理を終了する（ステップ S 2 1 5）。食材提供者は、食材提供者端末 1 0 0 で食材の注文を受信し、注文内容に応じて、代金決済の代行及び、利用者の指定した配達場所に食材を宅配する。

【 0 0 4 8 】

本実施形態においては、代金の支払いのシステムとして、食材提供者がクレジットカードなどで決済代行を行う構成を例に挙げて説明したが、食材の配達時に代金を引換える構成を使用しても良い。また、ステップ S 2 0 9 の処理で、既に複数の料理のレシピが選択されている場合には、それらの料理を作るために必要な全ての食材の種類と数量の一覧を集計した上で利用者端末 1 0 3 に提示しても良い。また、ステップ S 2 1 1 の処理で、必要な食材を確認した上で、追加として、別のレシピ選択画面に戻るようにしても良い。また、ステップ S 2 1 1 及び S 2 1 3 の処理で、再検索や追加検索を行う際、ステップ S 2 0 7 に処理を戻しているが、ステップ S 2 0 5 に移して、レシピサイトの選択から始めるようにしても良い。

【 0 0 4 9 】

以上のように、本実施形態にかかるコーディネーション端末は、料理レシピを提供する端末のデータベースや検索機能、および食材を提供する端末のデータベースや検索機能、注文機能を利用するため、料理レシピのコンテンツや、食材のコンテンツのデータベースや検索機能などを保有する必要がないので、簡易にコーディネーションサービスシステムを構築することができる。また、ネットワーク上に存在するレシピサイトの情報や、食材自体を提供する情報を利用できるので、利用者は、提供者の制限を受けずに、レシピや食材を選択することができる。

【 0 0 5 0 】

また、本実施形態においては、利用者は、料理レシピを閲覧しながら直接食材

を注文できるので、オンラインショッピングに要する時間が短縮してプロバイダへの接続料金を節約できると共に、食材の注文漏れや余分な注文を減らすことができる。

【0051】

さらに、コーディネーション端末を運営する事業者は、蓄積した利用者の個人情報を利用して、注文時の選択項目を削減したり、提示するコンテンツを利用者毎に変更することにより、個人を対象とするビジネスに利用することができる。

【0052】

(第2の実施の形態)

本実施形態においては、利用者が料理レシピをコーディネーション端末を介してネットワーク上で閲覧した後所定の食材を注文操作することにより、料理に必要な食材を食材提供者が取り揃えと共に、ネットワークを介して指示を受けた宅配業者が食材を集荷して利用者の指定場所に宅配するコーディネーションサービスシステムについて説明する。

【0053】

以下、図7を参照しながら、第2の実施の形態について説明する。図7は、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。なお、ここで、符号300は、食材リストの提示、食材の注文、代金の決済を受ける食材提供者端末である。符号301は、料理レシピを提供するレシピ提供者端末である。符号302は、コーディネーションを行うコーディネーション端末である。符号303は、利用者端末である。符号304は、ネットワークである。符号305は、食材を集荷して利用者の指定場所に宅配する宅配業者の宅配業者端末である。

【0054】

本実施形態においては、食材提供者端末300は、提供可能な食材の名前、値段、数量などをデータベースに格納する。また、ネットワーク経由で受注可能なシステム、及び代金の決済を代行するシステムを具備する。

【0055】

レシピ提供者端末301は、料理の名前、材料、作り方などをデータベースに

格納しており、利用者が、ネットワーク経由で各料理レシピを閲覧できるシステムを有する。

【0056】

コーディネーション端末302は、利用者の個人情報や、食材提供者の情報、レシピ提供者の情報、及び宅配業者の情報をデータベースに格納する機能、及び利用者端末303に対して料理レシピから直接材料を注文できるシステムを提供する機能を有する。

【0057】

利用者端末303は、ネットワークに接続され、レシピ提供者端末301の情報、食材提供者端末300の情報や、コーディネーション端末302の情報を表示し、必要に応じて入力する手段を具備する。

【0058】

宅配業者端末305は、コーディネーション端末302から、集荷、配達注文を受けるシステムを具備し、受注情報に応じて、宅配業者は食材提供者から食材を集荷し、利用者の指定場所に配達する。ネットワーク304は、上記各端末300、301、302、303、305を接続する。

【0059】

以下、図8に基づいて、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローについて説明する。図8は、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローを示すフローチャートである。

【0060】

本実施形態においては、利用者は、本システムを利用するに当たり、個人情報をコーディネーション端末302に予め登録する。個人情報の登録方法は、特に規定されないが、個人を特定する情報、食材を宅配する際の配達場所、代金を支払うためのクレジットカード番号や銀行口座番号などの情報を登録する。また、各端末間300、301、302、303、305でネットワーク304を介して送受信されるメッセージは、セキュリティが全て保護され、安全にメッセージを送受信できる環境であるものとする。

【0061】

まず、ステップS400において、利用者は、利用者端末303を用いて、コーディネーション端末302に接続する（ステップS400）。これは、利用者が汎用のe bブラウザを利用して、コーディネーション端末302のURLを指定することに相当する。

【0062】

次いで、ステップS401で、利用者が登録者であるか否かを判断する（ステップS401）。利用者が登録者であると判断する場合には、ステップS401に移行してユーザ名、パスワードなどを入力（ステップS402）した後、ステップS404で、入力したユーザ名、パスワードなどが正しいか否かを判断する（ステップS404）。

【0063】

利用者が登録者でないと判断する場合には、ステップS403に移行し、個人情報の登録ページを表示して登録するように促す（ステップS403）。

【0064】

一方、ステップS404で、入力されたユーザ名、パスワードなどが正しいと判断する場合には、ステップS405に移行し、コーディネーション端末302が提供するページを表示する（ステップS405）。コーディネーション端末302は、図3に示すように、料理レシピを提供する複数の端末301のURLリストを利用者端末に対して提示する。これは、コーディネーション端末302が提供するページ内に、料理レシピを提供するサイトのURLが、リンクとして表示されていることを意味する。なお、このURLは、料理レシピ提供者と予め提携した上で表示される。

【0065】

次いで、ステップS406で、利用者は、提示された料理レシピを提供する複数の端末のURLリストから、好みのサイトを1つ選択する（ステップS406）。次いで、ステップS407に移行し、その端末が提供するレシピのページを閲覧する（ステップS407）。このとき、利用者端末303には、図4に示すように、レシピを提供するサイトが提示する画面以外に、食材注文ボタンが画面

内に表示される。

【 0 0 6 6 】

次いで、ステップ S 4 0 8 で、利用者は、レシピ提供サイト中を様々な検索方法で検索して希望する料理レシピのページに到達すると、食材注文ボタンを押す（ステップ S 4 0 8）。この操作により、ステップ S 4 0 9 で、コーディネーション端末 3 0 2 は、図 5 に示すように、表示されている料理レシピの料理を作るために必要な食材の種類とその数量の一覧を利用者端末 3 0 3 に提示する（ステップ S 4 0 9）。

【 0 0 6 7 】

ここで、料理に必要な食材の種類と数量を取得する方法として、表示されている料理レシピから該当する部分を抽出して取得する方法や、選択された料理レシピの材料リストを料理レシピの提供者に対して要求して取得する方法が利用できる。

【 0 0 6 8 】

次いで、利用者は提示された内容を見て、不要な食材を削除して必要な食材を残す、あるいは食材の量を変更するなどの修正をおこなう（ステップ S 4 1 0）。その後、ステップ S 4 1 1 に移行し、確認ボタンを押す（ステップ S 4 1 1）。また、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることもできる。

【 0 0 6 9 】

コーディネーション端末 3 0 2 は、利用者が希望した食材の情報に基づいて、必要な食材が揃えることができる食材提供者端末 3 0 0 を選択する。このとき、1 つの食材提供者で全ての食材が揃わない場合は、複数の食材提供者端末 3 0 0 を組み合わせて選択することもできる。また、食材提供者の選択は、食材提供者に食材の情報を送信し、全て又は一部の食材が揃うと返信した食材提供者を選択する方法も採用することができる。また、複数の食材提供者の候補がある場合には、利用者が選択する方法や、利用者が予め設定する優先順位（価格の安い提供者、品質の高い提供者など）に応じて選択する方法も採用することができる。

【 0 0 7 0 】

本実施形態においては、同時に、利用者が希望する宅配時間に配達可能な宅配業者端末305を選択する。ここで、宅配業者の選択は、宅配業者に集荷場所、宅配場所、宅配時間などを送信し、宅配可能であると返信した宅配業者を選択する方法を採用できる。また、複数の宅配業者の候補がある場合には、利用者が選択する方法や、利用者が予め設定した優先順位（価格の安い業者など）に応じて選択する方法も採用することができる。

【0071】

次いで、ステップS412に移行し、食材提供者、及び宅配業者が決定すると、コーディネーション端末302は、図6(a)に示すように、決定した食材提供者から注文書式を取得し、図9に示すように、注文する食材の種類、各数量及び代金支払いのためのクレジットカード番号などの該当個所を埋めて、利用者端末803に提示する（ステップS412）。ここで、食材の数量は、必要な分量を満たすように、食材提供者が取り扱う単位で表示される。

【0072】

次いで、ステップS413に移行し、利用者は、注文内容を確認し所定の修正を加えた上で、確認ボタンを押す（ステップS413）。このとき、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることもできる。

【0073】

同時に、ステップS414で、決定した宅配業者から注文書式を取得し、図10に示すように、集荷場所、配達場所、配達時間などの該当個所を埋めて、利用者端末303に提示する（ステップS414）。次いで、ステップS415に移行し、利用者は、配達内容を確認し所定の修正を加えた上で、確認ボタンを押す（ステップS415）。このとき、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることもできる。

【0074】

次いで、ステップS416に移行し、配達内容の確認ボタンを押すことにより、食材提供者端末300に食材の注文内容が送信されると同時に、宅配業者端末305に配達内容が送信される（ステップS416）。その後、ステップS417で、注文処理を終了する（ステップS417）。

【 0 0 7 5 】

食材提供者は、食材提供者端末 3 0 0 で食材の注文を受信し、注文内容に応じて、食材を準備して代金の決済の代行を行う。このとき、食材提供者には、食材の内容と利用者のクレジット番号のみが伝達されるので、利用者個人は特定されない。

【 0 0 7 6 】

一方、宅配業者は、宅配業者の端末 3 0 5 で配達注文を受信し、配達内容に応じて、食材を集荷して利用者の指定場所に配達する。このとき、宅配業者には、集荷先と配達先のみが伝達されるので、食材の注文内容は秘密にされる。

【 0 0 7 7 】

本実施形態においては、宅配業者を食材提供者と独立して構成した例を説明したが、食材提供者自身が宅配を行うシステムを有する構成と混在させることができる。また、代金の支払いのシステムとして、食材提供者がクレジットカードなどで決済代行を行う構成を例に挙げて説明したが、食材の配達時に代金を引換える構成を使用しても良い。さらに、代金の電子決済を行う端末や、宅配の注文を受ける端末などを混在する環境においても使用することができる。また、ステップ S 4 0 9 の処理で、既に複数の料理のレシピが選択されている場合には、それらの料理を作るために必要な全ての食材の種類と数量の一覧を集計した上で利用者端末 3 0 3 に提示しても良い。また、ステップ S 4 1 1 の処理で、必要な食材を確認した上で、追加として、別のレシピ選択画面に戻るようにしても良い。また、ステップ S 4 1 1、S 4 1 3 及びステップ S 4 1 5 の処理で、再検索や追加検索を行う際、ステップ S 4 0 7 に処理を戻しているが、ステップ S 4 0 5 に移して、レシピサイトの選択から始めるようにしても良い。

【 0 0 7 8 】

以上のように、本実施形態にかかるコーディネーション端末は、料理レシピを提供する端末のデータベースや検索機能、および食材を提供する端末のデータベースや検索機能、注文機能を利用するため、料理レシピのコンテンツや、食材のコンテンツのデータベースや検索機能などを保有する必要がないので、簡易にコーディネーションサービスシステムを構築することができる。また、ネットワー

ク上に存在するレシピサイトの情報や、食材自体を提供する情報を利用できるので、利用者は、提供者の制限を受けずに、レシピや食材を選択することができる。

【 0 0 7 9 】

また、本実施形態においては、利用者は、料理レシピを閲覧しながら直接食材を注文できるので、オンラインショッピングに要する時間が短縮してプロバイダへの接続料金を節約できると共に、食材の注文漏れや余分な注文を減らすことができる。

【 0 0 8 0 】

さらに、コーディネーション端末を運営する事業者は、蓄積した個人情報を利用して、注文時の選択項目を削減したり、提示するコンテンツの利用者毎に変更することにより、個人を対象とするビジネスに利用することができる。

【 0 0 8 1 】

さらにまた、本実施形態においては、食材提供者が宅配システムを有していない場合であっても、宅配業者端末がコーディネーション端末に接続されているので、本システムに加わることができる。また、コーディネーション端末を介して食材の注文をすることで、食材提供者には配達場所などの個人情報が伝達されないで、購入した利用者を特定する個人情報を秘密にすることができる。一方、宅配業者には配達物の内容が伝達されないで、購入物を特定する個人情報を秘密にすることができる。

【 0 0 8 2 】

(第 3 の実施の形態)

本実施形態においては、利用者が料理レシピをコーディネーション端末を介してネットワーク上で閲覧した後所定の食材を注文操作することにより、料理に必要な食材を食材提供者が取り揃えと共に、ネットワークを介して指示を受けた宅配業者が食材を集荷して利用者の指定場所に宅配し、さらに、利用者からの食材提供者への代金の支払いを決済代行業者が代行するコーディネーションサービスシステムについて説明する。

【 0 0 8 3 】

以下、図11を参照しながら、第3の実施の形態について説明する。図11は、本発実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。なお、ここで、符号500は、食材リストの提示、食材の注文を受ける食材提供者端末である。符号501は、料理レシピを提供するレシピ提供者端末である。符号502は、コーディネーションを行うコーディネーション端末である。符号503は、利用者端末である。符号504は、ネットワークである。符号505は、食材を集荷して利用者の指定場所に宅配する宅配業者の宅配業者端末である。符号506は、利用者からの食材提供者への代金の支払いを代行する決済代行業者の決済代行業者端末である。

【0084】

本実施形態においては、食材提供者端末500は、提供可能な食材の名前、値段、数量などをデータベースに格納する。また、ネットワーク経由で受注可能なシステムを具備する。

【0085】

レシピ提供者端末501は、料理の名前、材料、作り方などをデータベースに格納しており、利用者が、ネットワーク経由で各料理レシピを閲覧できるシステムを有する。

【0086】

コーディネーション端末502は、利用者の個人情報や、食材提供者の情報、レシピ提供者の情報、宅配業者の情報、及び決済代行者の情報をデータベースに格納する機能、及び利用者端末503に対して料理レシピから直接材料を注文できるシステムを提供できる機能を備えている。

【0087】

利用者端末503は、ネットワークに接続され、レシピ提供者端末501の情報や、食材提供者端末500の情報や、コーディネーション端末502の情報を表示し、必要に応じて入力する手段を具備する。

【0088】

宅配業者端末505は、コーディネーション端末502から、集荷、配達注文を受けるシステムを具備し、受注情報に応じて、宅配業者は食材提供者で食材

を集荷し、利用者の指定場所に配達する。

【 0 0 8 9 】

決済代行業者端末 5 0 6 は、コーディネーション端末 5 0 2 から、利用者の利用料金と食材提供者の情報を受信するシステムを具備し、利用者の口座から利用料金を引き落として食材提供者の指定口座に所定金額を送金することができる。ネットワーク 5 0 4 は、上記各端末 5 0 0, 5 0 1, 5 0 2, 5 0 3, 5 0 5, 5 0 6 を接続する。

【 0 0 9 0 】

以下、図 1 2 に基づいて、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローについて説明する。図 1 2 は、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローを示すフローチャートである。

【 0 0 9 1 】

本実施形態においては、利用者は、本システムを利用するに当たり、個人情報をコーディネーション端末 5 0 2 に予め登録する。個人情報の登録方法は、特に規定されないが、個人を特定する情報、食材を宅配する際の配達場所、代金を支払うためのクレジットカード番号や銀行口座番号などの情報を登録する。また、各端末間 5 0 0, 5 0 1, 5 0 2, 5 0 3, 5 0 5, 5 0 6 でネットワーク 5 0 4 を介して送受信されるメッセージは、セキュリティが全て保護され、安全にメッセージを送受信できる環境であるものとする。

【 0 0 9 2 】

まず、ステップ S 6 0 0 において、利用者は、利用者端末 5 0 3 を用いて、コーディネーション端末 5 0 2 に接続する（ステップ S 6 0 0）。これは、利用者が凡用の Web ブラウザを利用して、コーディネーション端末 5 0 2 の URL を指定することに相当する。

【 0 0 9 3 】

次いで、ステップ S 6 0 1 で、利用者が登録者であるか否かを判断する（ステップ S 6 0 1）。利用者が登録者であると判断する場合には、ステップ S 6 0 1 に移行してユーザ名、パスワードなどを入力（ステップ S 6 0 2）した後、ステ

ップ S 6 0 4 で、入力したユーザ名、パスワードなどが正しいか否かを判断する（ステップ S 6 0 4）。

【 0 0 9 4 】

利用者が登録者でないと判断する場合には、ステップ S 6 0 3 に移行し、個人情報の登録ページを表示して登録するように促す（ステップ S 6 0 3）。

【 0 0 9 5 】

一方、ステップ S 6 0 4 で、入力されたユーザ名、パスワードなどが正しいと判断する場合には、ステップ S 6 0 5 に移行し、コーディネーション端末 5 0 2 が提供するページを表示する（ステップ S 6 0 5）。コーディネーション端末 5 0 2 は、図 3 に示すように、料理レシピを提供する複数の端末 5 0 1 の URL リストを利用者端末に対して提示する（ステップ S 6 0 5）。これは、コーディネーション端末 5 0 2 が提供するページ内に、料理レシピを提供するサイトの URL が、URL リンクとして表示されていることを意味する。なお、この URL は、料理レシピ提供者と予め提携した上で表示される。

【 0 0 9 6 】

次いで、ステップ S 6 0 6 で、利用者は、提示された料理レシピを提供する複数の端末の URL リストから、好みのサイトを 1 つ選択する（ステップ S 6 0 6）。次いで、ステップ S 6 0 7 に移行し、その端末が提供するレシピのページを閲覧する（ステップ S 6 0 7）。このとき、利用者端末 5 0 3 には、図 4 に示すように、レシピを提供するサイトが提示する画面以外に、食材注文ボタンが画面内に表示される。

【 0 0 9 7 】

次いで、ステップ S 6 0 8 で、利用者は、レシピ提供サイトの中を様々な検索方法で検索して希望する料理レシピのページに到達すると、食材注文ボタンを押す（ステップ S 6 0 8）。この操作により、ステップ S 6 0 9 で、コーディネーション端末 5 0 2 は、図 5 に示すように、表示されている料理レシピの料理を作るために必要な食材の種類とその数量を利用者端末 5 0 3 に提示する（ステップ S 6 0 9）。

【 0 0 9 8 】

ここで、料理に必要な食材の種類と数量を取得する方法として、表示されている料理レシピから該当する部分を抽出して取得する方法や、選択された料理レシピの材料リストを料理レシピの提供者に対して要求して取得する方法が利用できる。

【0099】

次いで、利用者は提示された内容を見て、不要な食材を削除して必要な食材だけを残す、あるいは食材の量を変更するなどの修正をおこなう（ステップS610）。その後、ステップS611に移行し、確認ボタンを押す（ステップS611）。また、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることができる。

【0100】

コーディネーション端末502は、利用者が希望した食材の情報に基づいて、必要な食材を揃えることができる食材提供者端末500を選択する。このとき、1つの食材提供者で全ての食材が揃わない場合は、複数の食材提供者端末500を組み合わせて選択することもできる。また、食材提供者の選択は、食材提供者に食材の情報を送信し、全て又は一部の食材が揃うと返信した食材提供者を選択する方法も採用することができる。また、複数の食材提供者の候補がある場合には、利用者が選択する方法や、利用者が予め設定する優先順位（価格の安い提供者、品質の高い提供者など）に応じて選択する方法が利用できる。

【0101】

同時に、利用者が希望した宅配時間に配達可能な宅配業者の端末505を選択する。ここで、宅配業者の選択は、宅配業者に集荷場所、宅配場所、宅配時間などを送信し、宅配可能であると返信した宅配業者を選択する方法を採用できる。複数の宅配業者の候補がある場合には、利用者が選択する方法や、利用者が予め設定した優先順位（価格の安い業者など）に応じて選択する方法も採用することができる。

【0102】

次いで、ステップS612に移行し、食材提供者、及び宅配業者が決定すると、コーディネーション端末502は、図6（a）に示すように、決定した食材提

供者から注文書式を取得し、図13に示すように、注文する食材の種類、各数量などの該当個所を埋めて、利用者端末503に提示する（ステップS612）。ここで、食材の数量は、必要な分量を満たすように、食材提供者が取り扱う単位で表示される。

【0103】

次いで、ステップS613に移行し、利用者は、注文内容を確認し所定の修正を加えた上で、確認ボタンを押す（ステップS613）。このとき、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることができる。

【0104】

同時に、ステップS614で、決定した宅配業者から注文書式を取得し、図14に示すように、集荷場所、配達場所、配達時間などの該当個所を埋めて、利用者端末503に提示する（ステップS614）。次いで、ステップS615で、利用者は、配達内容を確認し所定の修正を加えた上で、確認ボタンを押す（ステップS615）。このとき、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることができる。

【0105】

また、同時に、ステップS616で、コーディネーション端末502は、図15に示すように、決定した決済代行業者端末506から、利用代金支払いの書式を受信し、利用代金、利用した食材提供者の口座番号、利用者の口座番号やクレジットカード番号などの該当個所を埋めて、利用者端末503に提示する（ステップS616）。次いで、ステップS617で、利用者は、内容を確認し確認ボタンを押す（ステップS617）。ここで、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることができる。

【0106】

次いで、ステップS618に移行し、決済内容の確認ボタンを押すことにより、食材提供者端末500に食材の注文内容が宅配業者の端末505に配達内容が送信され（ステップS618）、注文処理を終了する（ステップS619）。

【0107】

食材提供者は、食材提供者端末500で食材の注文を受信し、注文内容に応じ

て、食材を準備する。このとき、宅配業者は、宅配業者端末505で配達注文を受信し、配達内容に応じて食材を集荷して利用者の指定場所に配達する。決済代行業者は、決済代行業者端末506でシステムの利用内容を受信し、利用内容に応じて利用者の口座から利用料金を引き落として食材提供者の指定口座に所定代金の送金をおこなう。

【0108】

本実施形態においては、宅配業者を食材提供者と独立して構成した例を説明したが、食材提供者自身が宅配を行うシステムを有する構成と混在させることができる。また、決済代行業者と食材提供者と独立して構成した例を説明したが、食材提供者自身が決済代行を行うシステムを有する構成や、宅配業者が決済代行のシステムを有する構成と混在させることもできる

【0109】

以上のように、本実施形態にかかるコーディネーション端末は、料理レシピを提供する端末のデータベースや検索機能、および食材を提供する端末のデータベースや検索機能、注文機能を利用するため、料理レシピのコンテンツや、食材のコンテンツのデータベースや検索機能などを保有する必要がないので、簡易にシステムを構築することができる。また、ネットワーク上に存在するレシピサイトの情報や、食材自体を提供を利用できるので、利用者は、提供者の制限を受けずに、レシピや食材を選択することができる。また、ステップS609の処理で、既に複数の料理のレシピが選択されている場合には、それらの料理を作るために必要な全ての食材の種類と数量の一覧を集計した上で利用者端末503に提示しても良い。また、ステップS611の処理で、必要な食材を確認した上で、追加として、別のレシピ選択画面に戻るようにしても良い。また、ステップS611、S613、S615及びS617の処理で、再検索や追加検索を行う際、ステップS607に処理を戻しているが、ステップS605に移して、レシピサイトの選択から始めるようにしても良い。

【0110】

また、本実施形態においては、利用者は、料理レシピを閲覧しながら直接食材を注文できるので、オンラインショッピングに要する時間が短縮してプロバイダ

への接続料金を節約できると共に、食材の注文漏れや余分な注文を減らすことができる。

【0111】

さらに、コーディネーション端末を運営する事業者は、蓄積した個人情報を利用して、注文時の選択項目を削減したり、提示するコンテンツの利用者毎に変更することにより、個人を対象とするビジネスに利用することができる。

【0112】

さらにまた、本実施形態においては、食材提供者が宅配システム及び決済代行システムを有していない場合であっても、宅配業者端末及び決済代行業者端末がシステムコーディネーション端末に接続されているので、本システムに加わることができる。また、コーディネーション端末を介して食材の注文をすることで、食材提供者には配達場所などの個人情報が伝達されないので、購入した利用者の個人情報を秘密にすることができる。一方、宅配業者には配達物の内容が伝達されないので、購入物を特定する個人情報を秘密にすることができる。

【0113】

（第4の実施の形態）

本実施形態においては、利用者が料理レシピをコーディネーション端末を介してネットワーク上で閲覧した後所定の食材を注文操作をすることにより、料理に必要な食材が食材提供者に通知されてセットされ、利用者は食材提供者からセットされた食材を受け取るというコーディネーションサービスシステムについて説明する。

【0114】

以下、図16を参照しながら、第4の実施の形態について説明する。図16は、本発実施形態を示すコーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。なお、その構成は、第1の実施の形態と同様であるが、食材提供者端末は、食材の注文を受ける機能のみを有する。

【0115】

ここで、符号700は、食材リストの提示及び、食材の注文を受ける食材提供者端末である。符号701は、料理レシピを提供するレシピ提供者端末である。

符号702は、コーディネーションを行うコーディネーション端末である。符号703は、利用者端末である。符号704は、ネットワークである。

【0116】

本実施形態においては、食材提供者端末700は、提供可能な食材の名前、値段、数量などをデータベースに格納している。また、ネットワーク経由で受注可能なシステムを具備する。

【0117】

レシピ提供者端末701は、料理の名前、材料、作り方などをデータベースに格納しており、利用者が、ネットワーク経由で各料理レシピを閲覧できるシステムを有する。

【0118】

コーディネーション端末702は、利用者の個人情報や、食材提供者の情報、レシピ提供者の情報、宅配業者の情報をデータベースに格納する機能、及び利用者端末703に対して料理レシピから直接材料の注文できるシステムを提供できる機能を有する。

【0119】

利用者端末703は、ネットワーク704に接続され、レシピ提供者端末701の情報、食材提供者端末700の情報、あるいはコーディネーション端末702の情報を表示し、必要に応じて入力する手段を具備する。ネットワーク704は、上記各端末700、701、702、703を接続する。

【0120】

以下、図17に基づいて、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローについて説明する。図17は、本実施形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローを示すフローチャートである。

【0121】

本実施形態においては、利用者は、本システムを利用するに当たり、個人情報をコーディネーション端末702に予め登録する。個人情報の登録方法は、特に規定されないが、個人を特定する情報を登録するほか、配達を利用せずに店頭で

食材を受け取り、電子決済せず代金引換という情報も登録する。また、各端末 7 0 0, 7 0 1, 7 0 2, 7 0 3 間でネットワーク 7 0 4 を介して送受信されるメッセージは、セキュリティが全て保護され、安全にメッセージを送受信できる環境であるものとする。

【 0 1 2 2 】

まず、ステップ S 8 0 0 において、利用者は、利用者端末 7 0 3 を用いて、コーディネーション端末 7 0 2 に接続する（ステップ S 8 0 0）。これは、利用者が汎用の e b ブラウザを利用して、コーディネーション端末 7 0 2 の URL を指定することに相当する。

【 0 1 2 3 】

次いで、ステップ S 8 0 1 で、利用者が登録者であるか否かを判断する（ステップ S 8 0 1）。利用者が登録者であると判断する場合には、ステップ S 8 0 1 に移行してユーザ名、パスワードなどを入力（ステップ S 8 0 2）した後、ステップ S 8 0 4 で、入力したユーザ名、パスワードなどが正しいか否かを判断する（ステップ S 8 0 4）。

【 0 1 2 4 】

利用者が登録者でないと判断する場合には、ステップ S 8 0 3 に移行し、個人情報を登録するページを表示して登録を促す（ステップ S 8 0 3）。

【 0 1 2 5 】

一方、ステップ S 8 0 4 で、入力されたユーザ名、パスワードなどが正しいと判断する場合には、ステップ S 8 0 5 に移行し、コーディネーション端末 3 0 2 が提供するページを表示する（ステップ S 8 0 5）。コーディネーション端末 7 0 2 は、図 3 に示すように、料理レシピを提供する複数の端末 7 0 1 の URL リストを利用者端末に対して提示する。これは、コーディネーション端末 7 0 2 が提供するページ内に、料理レシピを提供するサイトの URL が、URL リンクとして表示されていることを意味する。なお、この URL は、料理レシピ提供者と予め提携した上で表示される。

【 0 1 2 6 】

次いで、ステップ S 8 0 6 で、利用者は、提示された料理レシピを提供する複

数の端末のURLリストから、好みのサイトを1つ選択する（ステップS806）。次いで、ステップS807に移行し、その端末が提供するレシピのページを閲覧する（ステップS807）。このとき、利用者端末703には、図4に示すように、レシピ提供サイトが提示する画面以外に、食材注文ボタンが画面内に表示される。

【0127】

次いで、ステップS808で、利用者は、レシピ提供サイト中を様々な検索方法で検索して希望する料理のレシピのページに到達すると、食材注文ボタンを押す（ステップS808）。この操作により、ステップS809で、コーディネーション端末702は、図5に示すように、表示されている料理レシピの料理を作るために必要な食材の種類とその数量の一覧を利用者端末703に提示する（ステップS809）。

【0128】

ここで、料理に必要な食材の種類と数量を取得する方法として、表示されている料理レシピから該当する部分を抽出して取得する方法や、選択された料理レシピの材料リストを料理レシピの提供者に対して要求して取得する方法が利用できる。

【0129】

次いで、利用者は、提示された内容を見て、不要な食材を削除して必要な食材を残す、あるいは食材の量を変更するなどの修正をおこなう（ステップS810）。その後、ステップS811に移行し、確認ボタンを押す（ステップS811）。また、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などにも戻ることもできる。

【0130】

コーディネーション端末702は、利用者が希望した食材の情報に基づいて、必要な食材が揃えることができ、かつ利用者が食材を受け取ることができる食材提供者端末700を選択する。このとき、1つの食材提供者で全ての食材が揃わない場合は、複数の食材提供者の端末700を組み合わせることもできる。また、食材提供者の選択は、食材提供者に食材の情報を送信し、全てまたは

一部の食材が揃うと返信した食材提供者の端末 7 0 0 を選択する方法を採用できる。複数の食材提供者の候補がある場合は、利用者が選択する方法や、利用者が予め設定した優先順位（価格の安い提供者、品質の高い提供者、距離が近い提供者など）に応じて選択する方法も採用することができる。

【 0 1 3 1 】

次いで、ステップ S 8 1 2 に移行し、食材提供者が決定すると、コーディネーション端末 7 0 2 は、図 6 (a) に示すように、決定した食材提供者から注文書式を取得し、図 1 8 に示すように、注文する食材の種類、各数量の該当個所を埋めて、利用者端末 7 0 3 に提示する（ステップ S 8 1 2）。このとき、利用者のクレジットカード番号や銀行口座番号などの決済に関する情報は表示されず、利用者が来店して食材を受け取るという項目が提示される。また、食材の数量は、必要な分量を満たすように、食材提供者が取り扱う単位で表示される。

【 0 1 3 2 】

次いで、ステップ S 8 1 3 に移行し、利用者は、注文内容を確認し所定の修正を加えた上で、確認ボタンを押す（ステップ S 8 1 3）。このとき、この操作をキャンセルして、レシピの選択画面などに戻ることもできる。

【 0 1 3 3 】

次いで、ステップ S 8 1 4 に移行し、確認ボタンを押すことにより、食材提供者端末 7 0 0 に食材の注文内容が送信され（ステップ S 8 1 4）、ステップ S 8 1 5 で、注文処理を終了する（ステップ S 8 1 5）。食材提供者は、食材提供者端末 7 0 0 で食材の注文を受信し、注文内容に応じてセットした食材を代金と引き換えに、来店した利用者に受け渡す。

【 0 1 3 4 】

以上のように、本実施形態にかかるコーディネーション端末は、料理レシピを提供する端末のデータベースや検索機能、および食材を提供する端末のデータベースや検索機能、注文機能を利用するため、料理レシピのコンテンツや、食材のコンテンツのデータベースや検索機能などを保有する必要がないので、簡易にシステムを構築することができる。また、ネットワーク上に存在するレシピサイトの情報や、食材自体を提供を提供する情報を利用できるので、利用者は、提供者

の制限を受けずに、レシピや食材を選択することができる。また、ステップ S 8 0 9 の処理で、既に複数の料理のレシピが選択されている場合には、それらの料理を作るために必要な全ての食材の種類と数量の一覧を集計した上で利用者端末 7 0 3 に提示しても良い。また、ステップ S 8 1 1 の処理で、必要な食材を確認した上で、追加として、別のレシピ選択画面に戻るようにしても良い。また、ステップ S 8 1 1 及び S 8 1 3 の処理で、再検索や追加検索を行う際、ステップ S 8 0 7 に処理を戻しているが、ステップ S 8 0 5 に移して、レシピサイトの選択から始めるようにしても良い。

【 0 1 3 5 】

また、本実施形態においては、利用者は、料理のレシピを閲覧しながら直接食材を注文できるので、オンラインショッピングに要する時間が短縮してプロバイダへの接続料金を節約できると共に、食材の注文漏れや余分な注文を減らすことができる。

【 0 1 3 6 】

また、コーディネーション端末を運営する事業者は、蓄積した利用者の個人情報を利用して、注文時の選択項目を削減したり、提示するコンテンツを利用者毎に変更することにより、個人を対象とするビジネスに利用することができる。

【 0 1 3 7 】

また、本実施形態においては、予め食材がセットされている上、代金の計算もできているので、店舗で食材を購入する場合には時間が大幅に短縮される。また、利用者がクレジットカードの電子決済を全く使用しない場合でも、本システムを利用することができる。

【 0 1 3 8 】

以上、本発明に係る好適な実施の形態について説明したが、本発明はかかる構成に限定されない。当業者であれば、特許請求の範囲に記載された技術思想の範囲内において、各種の修正例および変更例を想定し得るものであり、それらの修正例および変更例についても本発明の技術範囲に包含されるものと了解される。

【 0 1 3 9 】

例えば、上記実施形態においては、料理レシピの提供と食材の提供という組み

合わせてコーディネートした構成を例に挙げて説明したが、コーディネーションする対象はかかる例に限定されない。例えば、日曜大工作品の作り方の提供と、木材など材料の提供という組み合わせや、掃除の仕方と掃除用品という組み合わせなど、所定の作業方法と所定作業に必要な材料、道具などの作業要素を提供し、2種類以上の提供対象物の組み合わせであれば実施することができる。

【0140】

【発明の効果】

コーディネーション端末は、料理レシピのデータベースや食材のデータベースを保持する必要がなく、料理レシピや食材を検索する機能を有する必要もない。また、かかるシステムにより、ネットワーク上に散在する料理レシピのサイトを閲覧した後で、改めて食材提供サイトを閲覧する必要がなく、短時間で直感的なインターフェースで注文操作することができる。さらに、ネットワーク上であらゆる作業方法提供サイト（例えば料理レシピ提供サイト）と作業要素提供サイト（例えば食材提供サイト）を利用できるので、利用者は、作業（例えば料理）の選択が制限されずにサービスを受けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

第1の実施の形態にかかるコーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】

第1の実施の形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローを示すフローチャートである。

【図3】

本実施形態にかかる利用者端末に提示されるレシピ提供者端末レシピサイトのURLリストを示す説明図である。

【図4】

本実施形態にかかる利用者端末のレシピ提供サイトのメニュー閲覧画面例を示す説明図である。

【図5】

本実施形態にかかる利用者端末に提示される料理に必要な食材の一覧の画面例を示す説明図である。

【図 6】

本実施形態にかかる利用者端末に提示される食材提供者の注文書式画面例及び発注確認画面例を示す説明図である。

【図 7】

第 2 の実施の形態にかかるコーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。

【図 8】

第 2 の実施の形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローを示すフローチャートである。

【図 9】

第 2 の実施形態にかかる利用者端末に提示される食材提供者からの食材発注確認の画面例を示す説明図である。

【図 1 0】

第 2 の実施の形態にかかる利用者端末に提示される宅配業者の宅配発注確認画面例を示す説明図である。

【図 1 1】

第 3 の実施の形態にかかるコーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である

【図 1 2】

第 3 の実施の形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローを示すフローチャートである。

【図 1 3】

第 3 の実施の形態にかかる利用者端末に提示される食材提供者からの食材発注確認の画面例を示す説明図である。

【図 1 4】

第 3 の実施の形態にかかる利用者端末に提示される宅配業者の宅配発注確認画面例を示す説明図である。

【図 1 5】

第 3 の実施の形態にかかる利用者端末に提示される決済代行業者の利用代金支払いの書式を示す説明図である。

【図 1 6】

第 4 の実施の形態にかかるコーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である

【図 1 7】

第 4 の実施の形態にかかるコーディネーションサービスシステムにおける利用者端末の動作フローを示すフローチャートである。

【図 1 8】

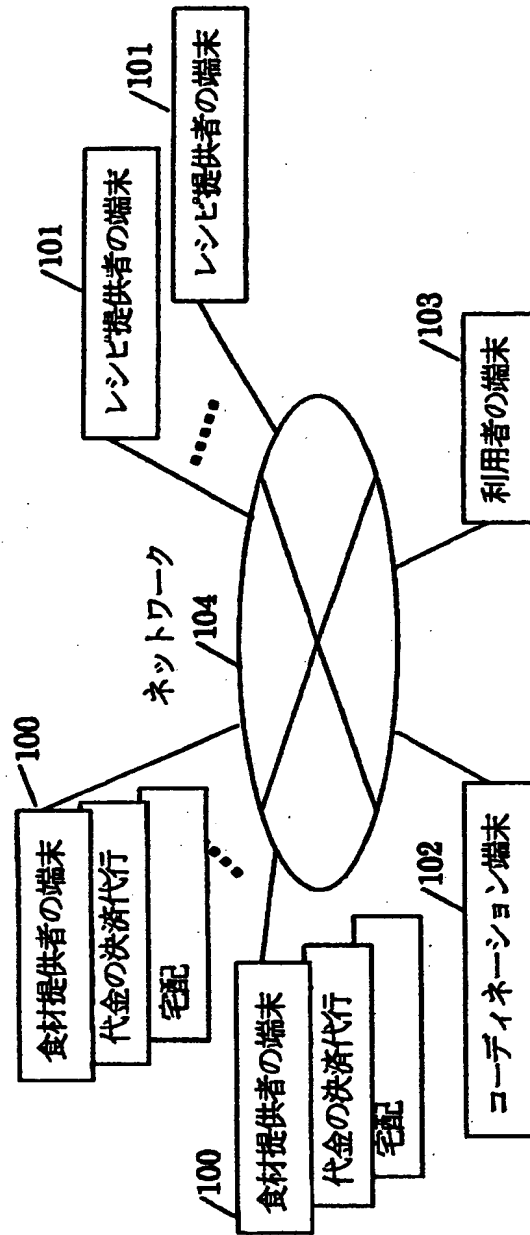
第 4 の実施の形態にかかる利用者端末に提示される食材提供者からの食材発注確認の画面例を示す説明図である。

【符号の説明】

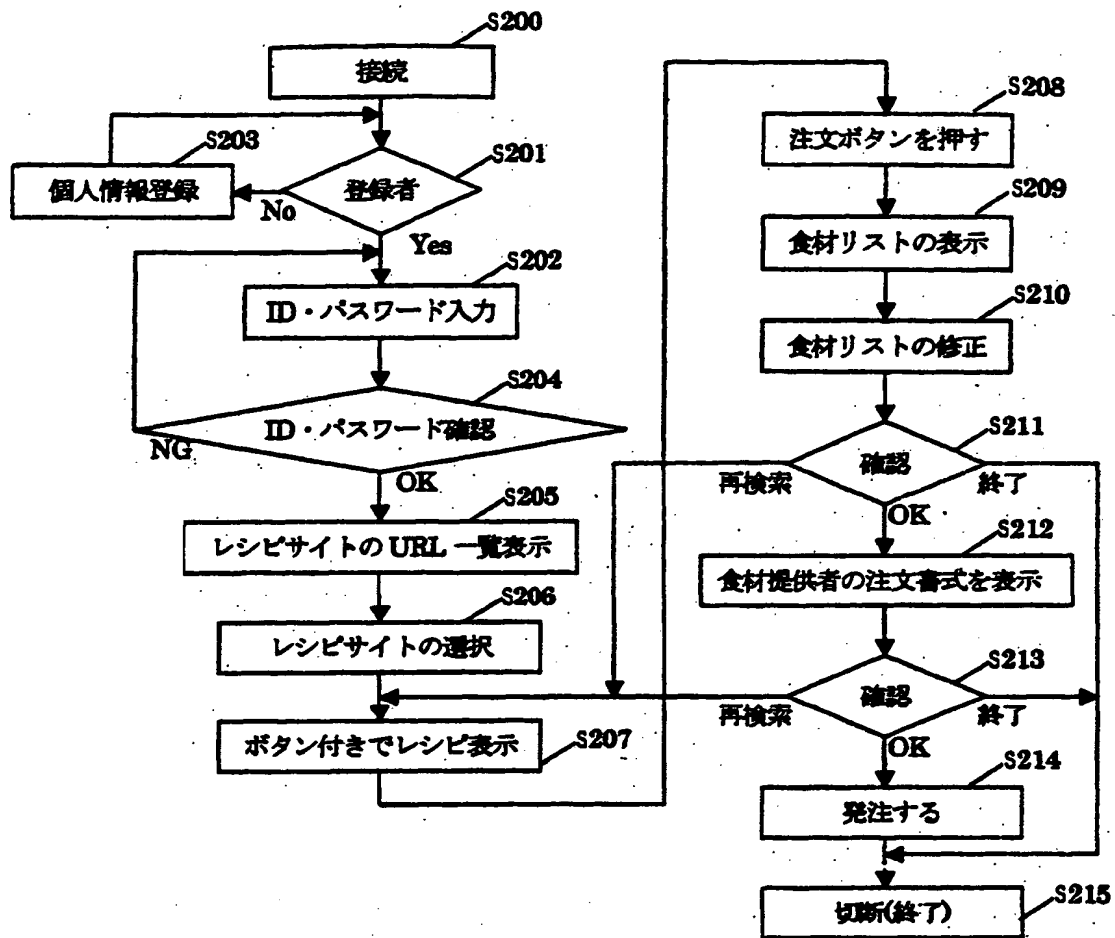
- 1 0 0, 3 0 0 食材提供者端末
- 1 0 1, 3 0 1 レシピ提供者端末
- 1 0 2, 3 0 2 コーディネーション端末
- 1 0 3, 3 0 3 利用者端末
- 1 0 4, 3 0 4 ネットワーク
- 3 0 5, 5 0 5 宅配業者端末
- 5 0 6 決済代行業者端末

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



【図 3】

コーディネーションサービス

今晚のおかず

晩ご飯のメニュー

クッキングレシピ

夕食クッキング

【図 4】

コーディネーションサービス

注文

再検索

終了

●FAX(4人分)

① 牛乳 100ml

② 塩 少々

③ コンソメ 少々

④ 塩 少々

⑤ 塩 少々

⑥ 塩 少々

⑦ 塩 少々

⑧ 塩 少々

⑨ 塩 少々

⑩ 塩 少々

⑪ 塩 少々

⑫ 塩 少々

⑬ 塩 少々

⑭ 塩 少々

⑮ 塩 少々

⑯ 塩 少々

⑰ 塩 少々

⑱ 塩 少々

⑲ 塩 少々

⑳ 塩 少々

●作り方

① 牛乳を煮立て、塩を加えて煮詰める。② 牛乳を煮詰めた後、コンソメを加えて煮詰める。③ 塩を加えて煮詰める。④ 塩を加えて煮詰める。⑤ 塩を加えて煮詰める。⑥ 塩を加えて煮詰める。⑦ 塩を加えて煮詰める。⑧ 塩を加えて煮詰める。⑨ 塩を加えて煮詰める。⑩ 塩を加えて煮詰める。⑪ 塩を加えて煮詰める。⑫ 塩を加えて煮詰める。⑬ 塩を加えて煮詰める。⑭ 塩を加えて煮詰める。⑮ 塩を加えて煮詰める。⑯ 塩を加えて煮詰める。⑰ 塩を加えて煮詰める。⑱ 塩を加えて煮詰める。⑲ 塩を加えて煮詰める。⑳ 塩を加えて煮詰める。

【図5】

コーディネーションサービス
(必要な食材の選択)

確認
再検索
終了

□	レタス	1	□
□	じゃがいも	3	□
□	しょうゆ	大2	□
□	トマト	2	□
□	マヨネーズ	少	□

【図 6】

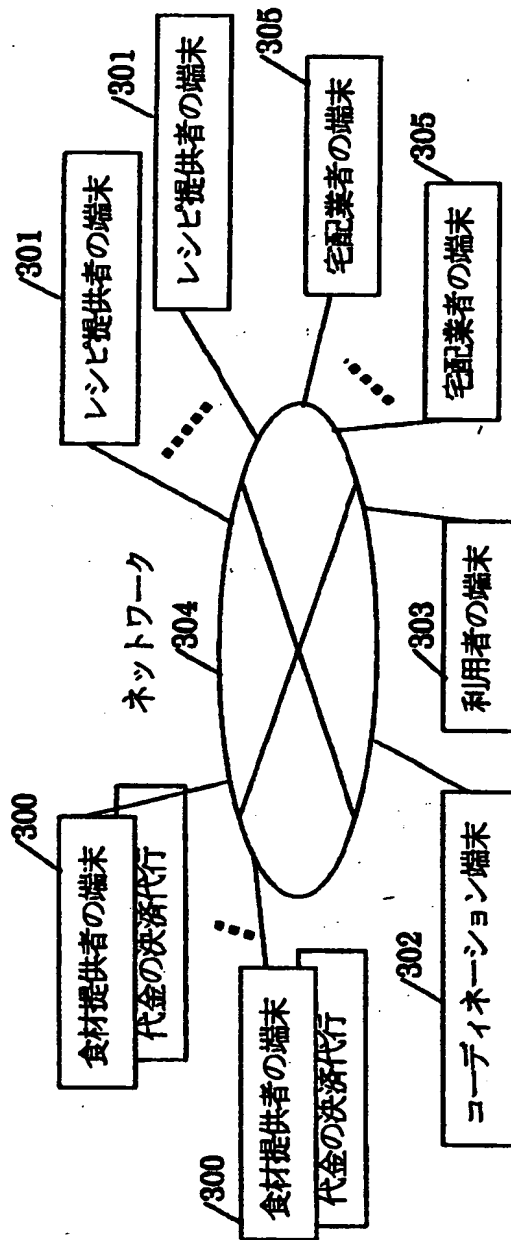
(a)

コーディネーションサービス (〇〇 スーパー)					
確認		再検索		終了	
<input type="checkbox"/>	レタス	1玉		¥175	
<input type="checkbox"/>	じゃがい	1袋		¥220	
<input type="checkbox"/>	しょうゆ	1本		¥80	
<input type="checkbox"/>	トマト	1パック		¥198	
<input type="checkbox"/>	マヨネーズ	1本		¥80	

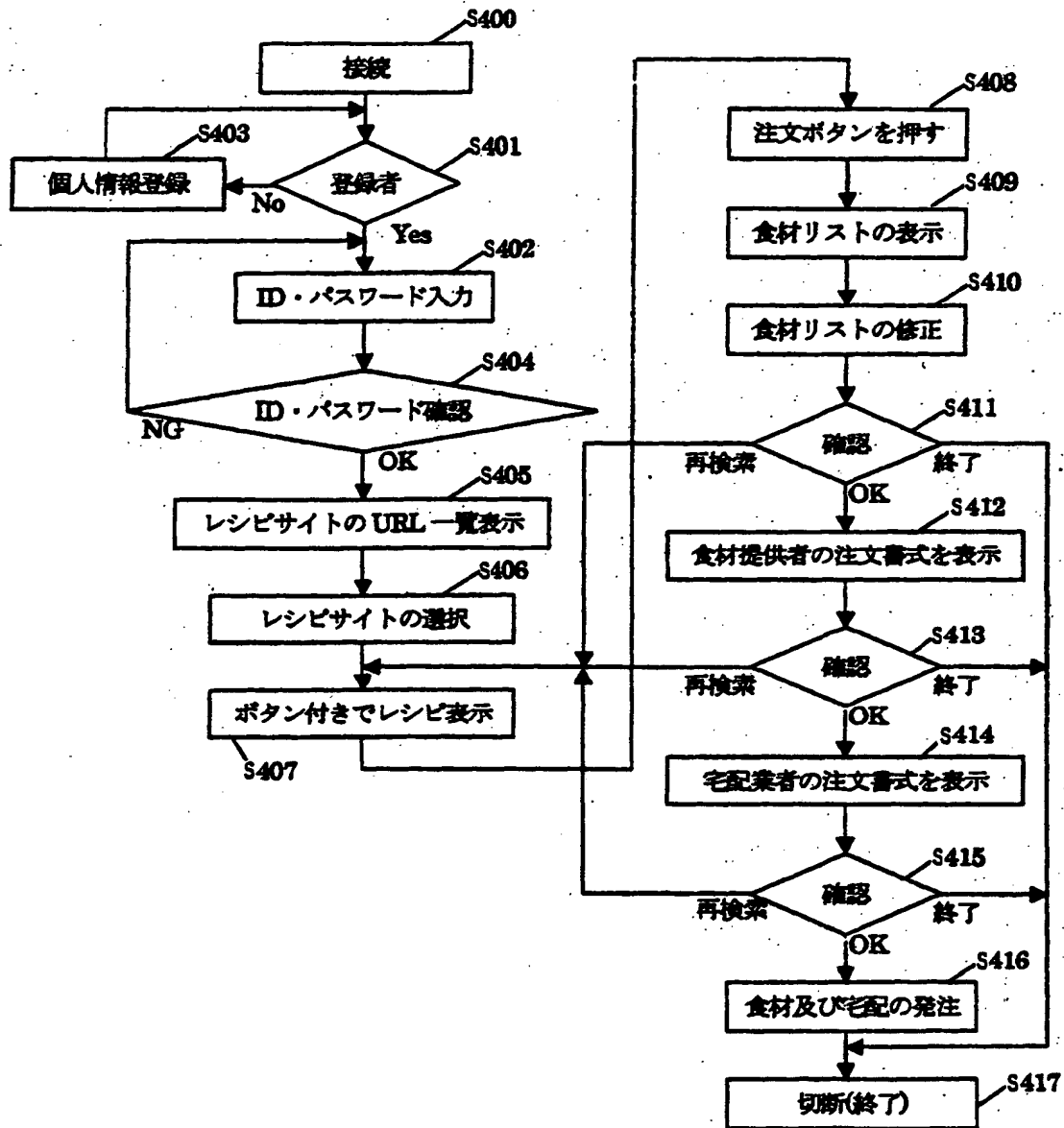
(b)

コーディネーションサービス (〇〇 スーパー)					
確認		再検索		終了	
<input type="checkbox"/>	数量		5		
<input type="checkbox"/>	合計			¥1220	
<input type="checkbox"/>	配達先: 大阪市				
<input type="checkbox"/>	カード: 1111-2222-3333-4444				
<input type="checkbox"/>	配達時刻: 午後7時				

【図 7】



【図 8】



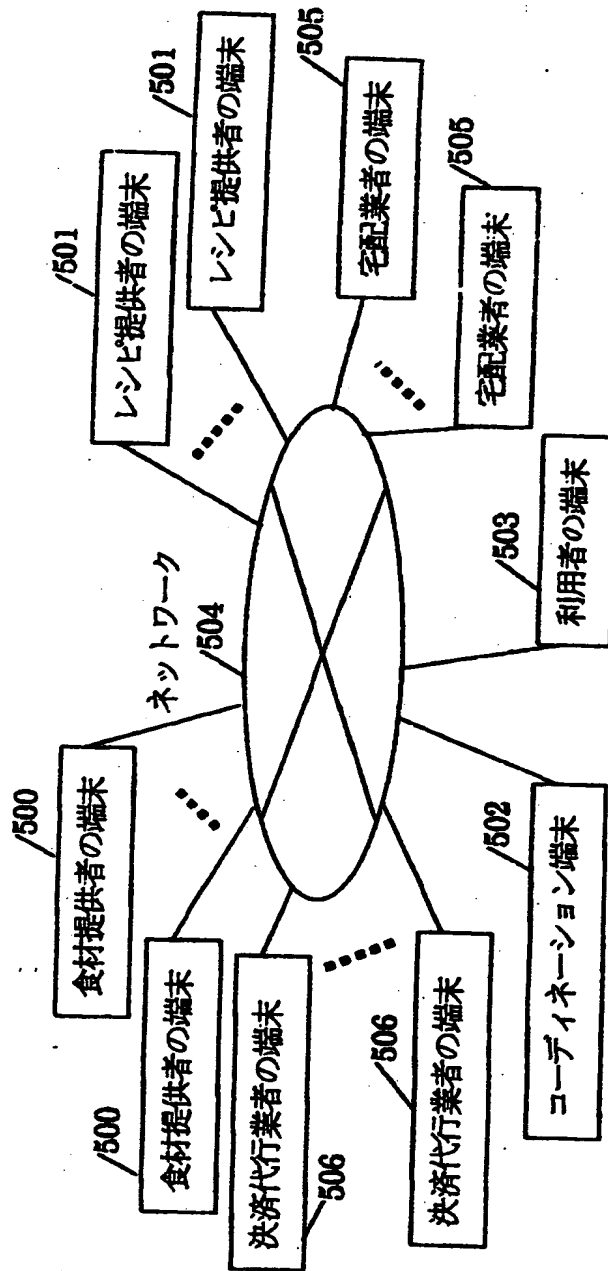
【図 9】

コーディネートサービス (〇〇 スーパー)		
<input type="button" value="確認"/>	<input type="button" value="再検索"/>	<input type="button" value="終了"/>
<input type="checkbox"/>	数量	5
<input type="checkbox"/>	合計	¥1220
<input type="checkbox"/>	ユーザID : 000123	
<input type="checkbox"/>	カード : 1111-2222-3333-4444	

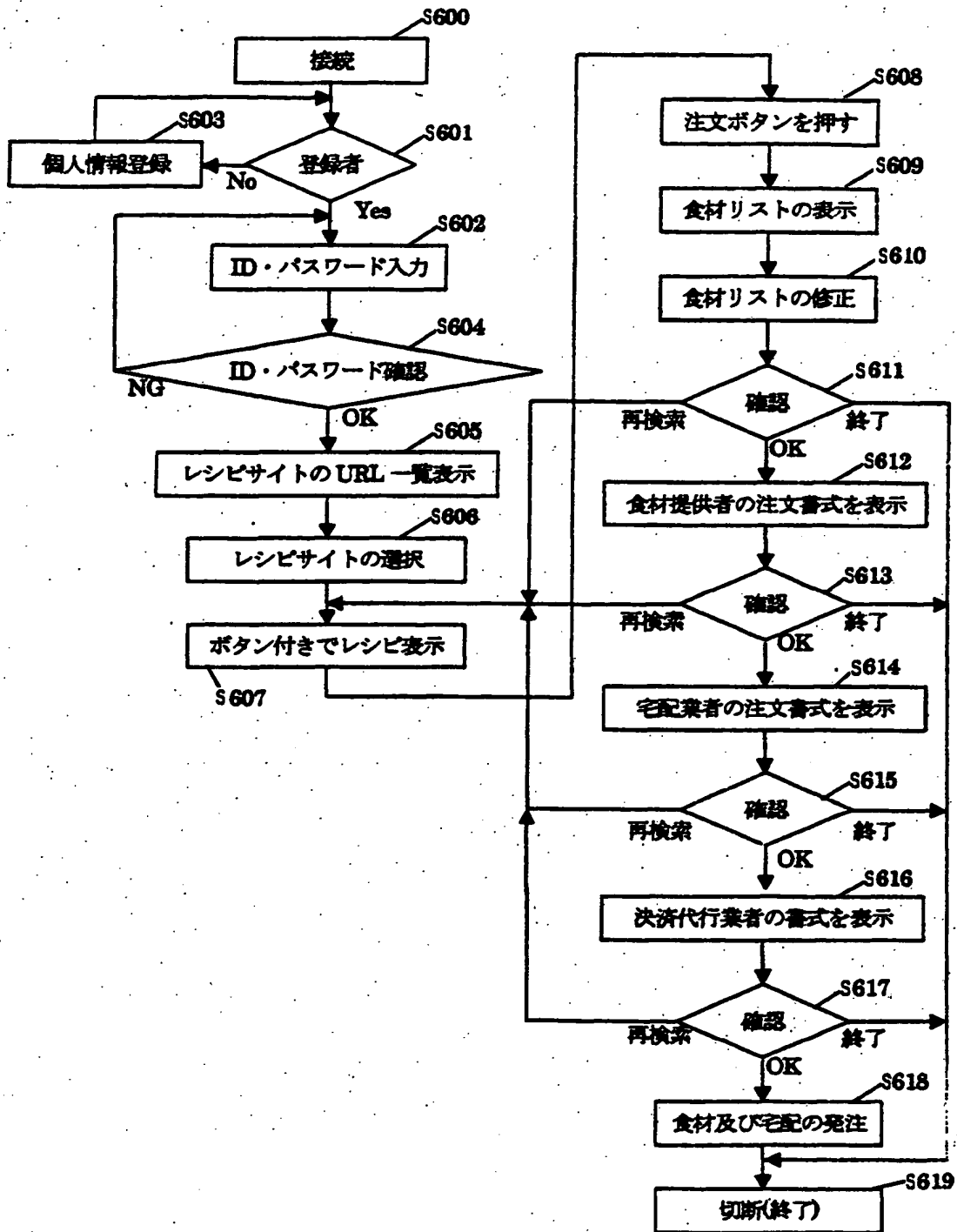
【図 10】

コーディネートサービス (〇〇 配達便)		
<input type="button" value="確認"/>	<input type="button" value="再検索"/>	<input type="button" value="終了"/>
<input type="checkbox"/>	ユーザID : 000123	
<input type="checkbox"/>	食品	数量 : 1
<input type="checkbox"/>	配達先 : 大阪市	
<input type="checkbox"/>	氏名 : 〇〇太郎 様	
<input type="checkbox"/>	配達時間 : 午後 7 時	

【図 11】



【図 12】



【図 13】

コーディネーションサービス (〇〇 スーパー)		
<div>確認</div> <div>再検索</div> <div>終了</div>		
<input type="checkbox"/>	数量	5
<input type="checkbox"/>	合計	¥1220
<input type="checkbox"/>	ユーザID: 000123	

【図 14】

コーディネーションサービス (〇〇 配達便)		
<div>確認</div> <div>再検索</div> <div>終了</div>		
<input type="checkbox"/>	ユーザID: 000123	
<input type="checkbox"/>	食品	数量: 1
<input type="checkbox"/>	配達先: 大阪市...	
<input type="checkbox"/>	氏名: 〇〇太郎 様	
<input type="checkbox"/>	配達時間: 午後7時	

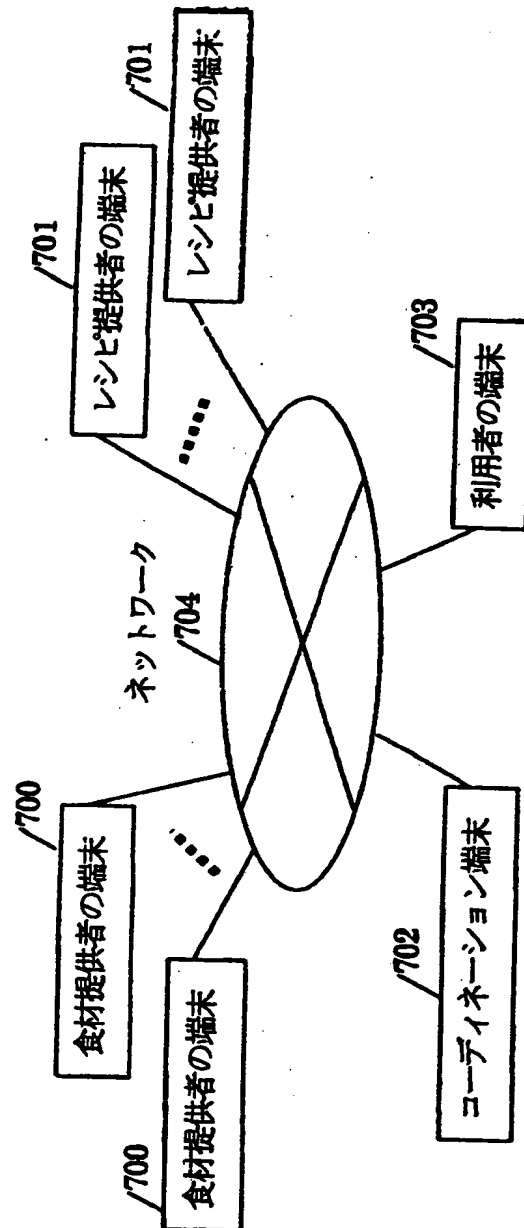
【図 15】

コーディネーションサービス
(OO 信販)

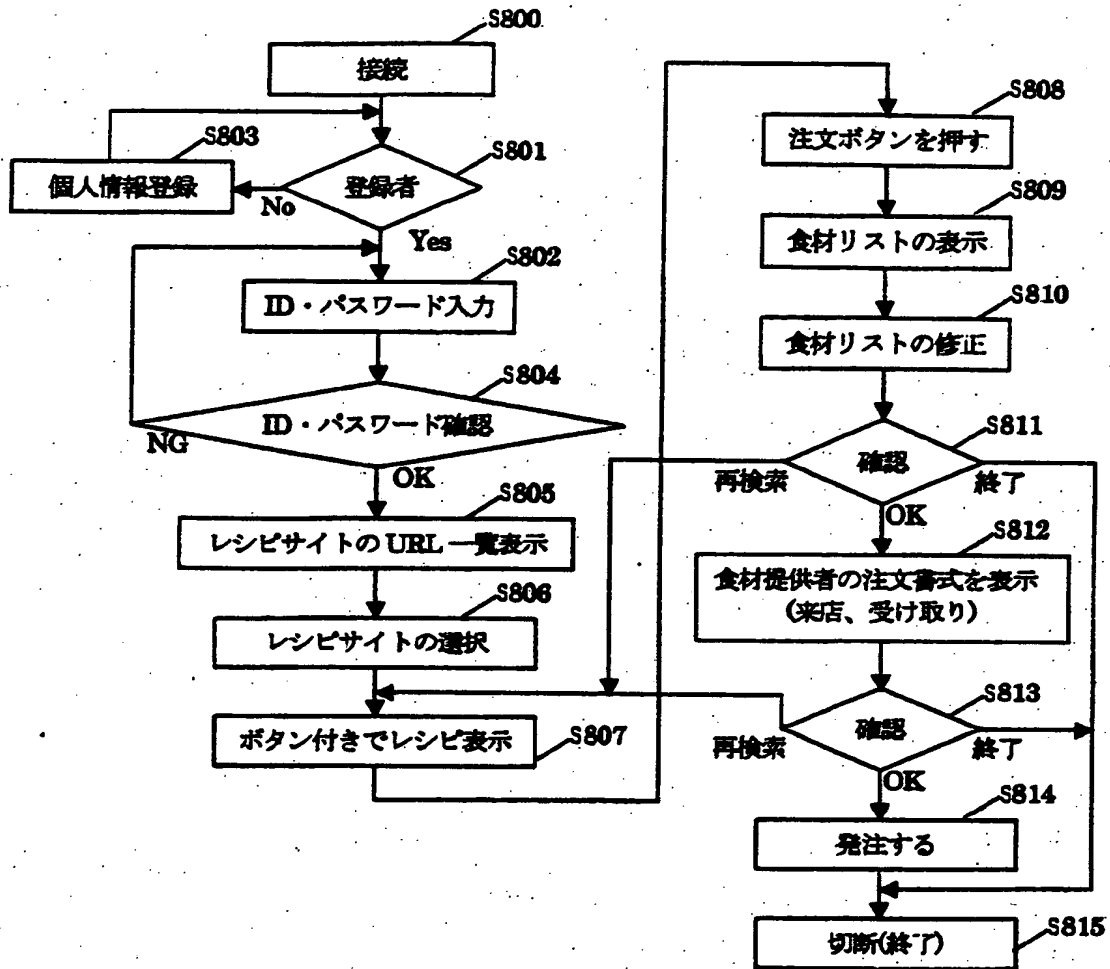
確認 再検索 終了

- ☐ ユーザID: 000123
- ☐ カード会社 ****
- ☐ 番号: 0000-1111-2222-3333
- ☐ 利用場所: OOスーパー
- ☐ 利用日: 2000/1/1

【図 16】



【図 17】



【図 18】

コーディネートサービス
(OO スーパー)

確認 再検索 終了

数量	5
合計	¥1220
ユーザID: 000123	
来店、受け取り	

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワークに接続された利用者端末から、所定作業に必要な作業要素を効率的かつ短時間で検索し、確実にオンライン上で必要な作業要素を購入する。

【解決手段】 所定の作業方法について情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、所定作業を実行するために必要な作業要素を提供し作業要素を宅配し及び作業要素の代金を決済する複数の作業要素提供者端末とがコンピュータネットワークを介して利用者端末と接続されるサービスシステムにおいて、さらに、利用者が閲覧する所定の作業方法の情報ページから、直接、作業要素提供者端末に対して、所定作業に必要な作業要素を注文できるコーディネーション端末が接続される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000000295]

1. 変更年月日	1990年 8月22日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
氏 名	沖電気工業株式会社